

科目名	装具療法演習			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科2年	後期	必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕							
装具療法演習では、講義とグループワークにもとづいて装具治療が行われる疾患について幅広く知識を習得することを目的とする。また各疾患に対する装具治療の役割を把握し、実際どのように行われるのかを知る。							
〔授業全体の内容の概要〕							
毎週の課題に対してグループワーク・発表を中心に行う。発表後は教員、学生からの質問に対して、その場で口頭にて答える。							
〔講師の実務経験〕							
2006年4月～2010年1月共同義肢製作所、2015年～2016年3月に、有限会社AR-Exマネージメント スポーツ装具研究所、埼玉県総合リハビリテーションセンター、有限会社 プレース・ジャパンにて義肢装具の採型・製作・適合業務に従事。2010年3月～2015年3月まで新潟医療福祉大学 医療技術学部 義肢装具自立支援学科において教鞭と研究業務に従事。							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各疾患を説明できる ・ 各疾患に対する装具療法の役割を説明できる。</li> <li>・ 医学的用語を用いてプレゼンテーションを行う事ができる。</li> </ul>							
回数	講義内容						
1	骨折概論（代表的な装具療法）						
2	骨折概論（代表的な装具療法）						
3	筋腱断裂と拘縮						
4	上肢・手の疾患						
5	頸椎疾患						
6	胸腰椎疾患						
7	膝関節疾患						
8	足関節・膝関節疾患						
9	関節症（変形性関節症、膝・股）						
10	先天性内反足						
11	ベルテス病						
12	先天性股関節脱臼						
13	中間試験						
14	中間試験						
15	末梢神経損傷（上肢・下肢）						
16	末梢神経損傷（上肢・下肢）						
17	糖尿病・血管原性足部潰瘍						
18	糖尿病・血管原性足部潰瘍						
19	関節リウマチ						
20	関節リウマチ						
21	二分脊椎症						
22	二分脊椎症						
23	脊髄損傷						

科目名	装具療法演習			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間 (2単位)	配当学年・時期	義肢装具士科2年	後期	必修・選択	必修
回数	講義内容							
24	脊髄損傷							
25	脳性麻痺							
26	脳性麻痺							
27	脳血管障害							
28	脳血管障害							
29	特別授業							
30	特別授業							

## 【 準備学習・時間外学習 】

--

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
義肢装具学 第4版	川村次郎他	医学書院
装具学 第4版	飛松 好子他 編	医歯薬出版株式会社
運動器疾患とリハビリテーション第2版	加倉井 周一他	医歯薬出版株式会社
標準整形外科学 第12版	松野丈夫他	医学書院

## 【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

試験（終講試験・中間試験・小テスト）により認定する。
----------------------------